１．件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
２．日時：令和２年８月２８日（金）１０時００分～１１時５０分
３．場所：原子力規制庁　１８階会議室
４．出席者
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
宇野課長補佐、知見主任安全審査官、松井安全審査官、高松専門職、
伊藤係長、市森係員、長崎技術参与、髙木技術参与
福島第一原子力規制事務所
田中原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社　福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所　担当２１名（テレビ会議システムによる出席）

５．要旨
- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、以下の説明があった。
  - １号機原子炉格納容器（ＰＣＶ）内部調査に係る干渉物切断作業の状況について
    - ✓ 本年８月２６日にＸ－２ペネトレーションの監視用の貫通部から作業用カメラ治具を設置したところ、ＰＣＶ内圧力の低下傾向を確認したことから、作業を中断し隔離弁を閉にすることでＰＣＶ圧力の復帰を確認。現在、原因を調査中であり、不具合対策後に切断作業を再開予定。
  - １号機がれき落下防止・緩和対策の進捗状況について
    - ✓ 現在、天井クレーン支保設置に向け、使用済燃料プール西側の支障がれきの撤去を実施中。
    - ✓ 上記の支障がれき撤去後に、燃料取扱機（ＦＨＭ）支保に係る準備作業を開始し、１０月から設置作業を実施予定。
  - ２号機原子炉注水停止試験結果の速報について
    - ✓ 本年８月１７日～２０日の３日間、２号機への注水を停止。原子炉圧力容器（ＲＰＶ）底部温度及びＰＣＶ温度は概ね予測の範囲内で推移。
    - ✓ 今後、データの詳細評価を実施予定。
  - 第二セシウム吸着装置（ＳＡＲＲＹ）自動停止事象に伴う調査結果について
    - ✓ 本年７月２１日に発生したＳＡＲＲＹの自動停止事象について現場調査を実施し、プロセス主建屋（ＰＭＢ）の分電盤の漏電遮断器がトリップ状態になっていることを確認。油分分離装置の電動弁制御回路に漏電電流が確認されたものの、漏電遮断器がトリップするような電流値は確認されず、原因は特定できなかった。
    - ✓ 今後、漏電電流監視モニタを設置し、継続的に漏電電流の変動状況を監視することにより、ＰＭＢを水源とした汚染水処理は可能と判断している。
  - 多核種除去設備Ａ系及びＣ系の応急復旧について
    - ✓ 本年７月９日に多核種除去設備のＣ系クロスフローフィルタ二次側出口配管及びＡ系クロスフローフィルター次側出口配管からの漏えいが発生。調査の結果、配管とフランジの溶接部に腐食孔（ピンホール）を確認。すきま腐食が発生した可能性があると推定。
    - ✓ 応急処置として、両系ともに配管内面の腐食状況を確認した上で、ベロメタルによる補修を行い、耐圧試験後にＡ系は９月１１日、Ｃ系は９月１４日に運転再開予定。

- ✓ 今後、同一仕様の配管を新規製作し、両系ともに来年３月頃に交換を実施予定。また、取り外した配管の断面観察等により腐食孔の発生原因調査を行い、恒久対策を検討する。

- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、
  - １号機ＰＣＶ内部調査に係る干渉物切断作業の状況について、不具合の原因調査結果と対策について説明すること
  - ２号機原子炉注水停止試験について、データの詳細評価ができ次第、説明するとともに、より長期間の注水停止試験の実施についても引き続き検討すること

  等を求めた。

６．その他

資料：

- １号機ＰＣＶ内部調査にかかる干渉物切断作業の状況
- １号機ガレキ撤去作業時のガレキ落下防止・緩和対策の進捗状況（ＦＨＭ支保の設置）
- ２号機原子炉注水停止試験結果（速報）
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール
- 使用済燃料プール水質状況について
- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況，運転計画（２０２０年８月２１日～２０２０年９月３日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（２０２０年８月２１日～２０２０年８月２７日）
- 各エリア別タンク一覧
- 汚染水等構内溜まり水の状況（２０２０．８．２０時点）
- タンク建設進捗状況
- 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について
- ＳＡＲＲＹ装置自動停止事象に伴う調査結果について
- 既設多核種除去設備Ａ／Ｃの応急復旧について
- 建屋内における残水等の状況について